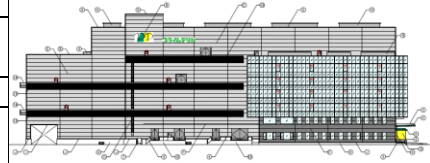


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライムテック株式会社相模原第二工場	階数	地上7F
建設地	相模原市南区当麻宿土地区画整理事業地内3街区	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	325 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年9月16日
敷地面積	16,016 m ²	作成者	株式会社カミムラ建築研究室
建築面積	5,875 m ²	確認日	2015年9月16日
延床面積	20,656 m ²	確認者	株式会社カミムラ建築研究室



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ BEE=1.0 C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>89%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	89%	③上記+②以外の	89%	④上記+	89%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	89%									
③上記+②以外の	89%									
④上記+	89%									

2-4 中項目の評価(パーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>計画は、相模原市に新築される食品工場である。敷地外周部には緑地を計画し、環境に配慮した建物計画を実施している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 床、天井(二面)に吸音材を使用 昼光率=3.502% 全般照明方式の場合で、照度が500lx以上1000lx未満 基準法を満たし、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 天井高2.7m、屋外の情報を得られるように窓を設置 執務スペースの12.35%のリフレッシュスペース、自動販売機を設置 外壁: 金属断熱サンドイッチパネル 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地外周部には緑地を計画し、温熱環境に配慮した建物計画を実施している。
<p>LR1 エネルギー</p> <p>特に無し。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 分別が容易な躯体+軽鉄+仕上材の壁、OAフロア 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺地域に対する光害対策に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される